

# intdash

## ウェブコンソールアプリケーション

## 操作マニュアル

intdash My Page v3.2.0 / Meas Hub v1.5.0 / Media Explorer v1.0.0 / Edge Finder v2.6.0 /  
Admin Console v1.2.0

2022Q1R1



## 目次

<b>01 はじめに（ウェブコンソール）</b>	<b>4</b>
1.1 このドキュメントの内容.....	4
1.2 推奨環境.....	5
<b>02 intdash におけるドメイン、ユーザー、エッジ、計測</b>	<b>6</b>
2.1 ドメイン (intdash ドメイン) .....	6
2.2 ユーザーとエッジ .....	6
2.3 計測 .....	9
<b>03 intdash にログインする</b>	<b>10</b>
<b>04 自分のユーザー アカウントについて設定する - My Page</b>	<b>12</b>
4.1 ユーザー情報（名前、メールアドレスなど）を確認／設定する .....	12
4.2 パスワードを変更する .....	13
4.3 API トークンを作成する .....	14
4.4 エッジアカウントを作成する.....	15
4.5 エッジアカウントの設定を変更する／エッジアカウントを削除する .....	16
4.6 ウェブアプリケーションの表示言語とタイムゾーンを変更する .....	16
<b>05 エッジの現在の状態を確認する - Edge Finder</b>	<b>18</b>
5.1 エッジの一覧を表示する .....	18
5.2 トラフィックを確認する .....	19
<b>06 計測データを管理する - Meas Hub</b>	<b>23</b>
6.1 計測の一覧を表示する .....	23
6.2 計測を探す .....	24
6.3 計測の詳細を確認する .....	25
6.4 計測の基準時刻を確認する／変更する .....	27
6.5 計測に含まれるマーカーの一覧を表示する .....	27
6.6 マーカーの詳細を確認する .....	29
6.7 CSV ファイルをアップロードして計測を作成する .....	30
6.8 H.264 動画を再生する／ダウンロードする .....	33
6.9 計測を削除する .....	33
6.10 Meas Hub アプリケーションの表示を変更する .....	34
<b>07 動画データを管理する - Media Explorer</b>	<b>36</b>
7.1 動画データを表示する .....	36
7.2 MP4 / JPEG 形式で動画をダウンロードする .....	38
<b>08 (管理者向け) ユーザーとエッジを管理する - Admin Console</b>	<b>39</b>

8.1 ユーザーの一覧を表示する（管理者向け）	39
8.2 ユーザーアカウントを作成する（管理者向け）	39
8.3 ユーザーの情報を確認する／変更する（管理者向け）	40
8.4 ユーザーアカウントを削除する（管理者向け）	41
8.5 パスワードを再発行する（管理者向け）	42
8.6 パスワードのロックを解除する（管理者向け）	42
8.7 ユーザー用の API トークンを作成する（管理者向け）	43
8.8 エッジの一覧を表示する（管理者向け）	43
8.9 エッジアカウントを作成する（管理者向け）	44
8.10 エッジの情報を確認する／変更する（管理者向け）	45
8.11 エッジアカウントを削除する（管理者向け）	45
<b>09 トラブルシューティング／よくある質問</b>	<b>46</b>
<b>10 お問い合わせ</b>	<b>47</b>

# 01 はじめに（ウェブコンソール）

## 重要:

- このドキュメントに記載されている仕様は予告なく変更される場合があります。このドキュメントは情報提供を目的としたものであり、仕様を保証するものではありません。
- 説明で使用している画面は一例です。ご使用の環境やアプリケーションのバージョンによって、表示や手順が一部異なる場合があります。

**注釈:** このドキュメントに記載されている会社名、サービス名、製品名等は、一般に、各社の登録商標または商標です。本文および図表中には、「™」、「®」は明記していません。

## 1.1 このドキュメントの内容

このドキュメントでは、以下を行う方法を説明します。

- 自分が所有するエッジの管理
- エッジの状態の確認
- サーバーに保存された計測データの検索・管理
- 自分（ユーザー）のアカウント情報の管理
- （管理者向け）intdash ドメイン内の全ユーザー、全エッジの管理

**注釈:** admin ロールを持つユーザーを、管理者と呼びます。

これらの操作は、以下のアプリケーションを使って行います。

- My Page**
  - 自分（ユーザー）の名前、メールアドレス、パスワード、表示言語等の設定
  - 自分が使用するエッジアカウントの作成、エッジの名前の設定
- Edge Finder**
  - intdash ドメイン内のすべてのエッジの表示
  - エッジが intdash サーバーに送信しているトラフィックの確認
- Meas Hub**
  - サーバーに保存された計測データの検索・管理
- Admin Console**（管理者のみ使用可能）
  - intdash ドメイン内の全ユーザー、全エッジの管理

**重要:** 時系列データをダッシュボードで可視化する Visual M2M Data Visualizer の使用方法についてはこのドキュメントでは説明していません。別冊 [Data Visualizer 操作マニュアル](#) を参照してください。

## 1.2 推奨環境

---

本ドキュメントで説明されている操作はウェブブラウザー上で行います。以下の環境が必要です。

- OS: Windows または macOS
- CPU: Intel 第 3 世代 Core i5 以上
- メモリー: 8GB 以上
- ネットワーク: インターネット接続
- ウェブブラウザー: Google Chrome(最新バージョン)

## 02 intdash におけるドメイン、ユーザー、エッジ、計測

本章では、intdash を使用する際の前提として、intdash で使用する主な概念について説明します。

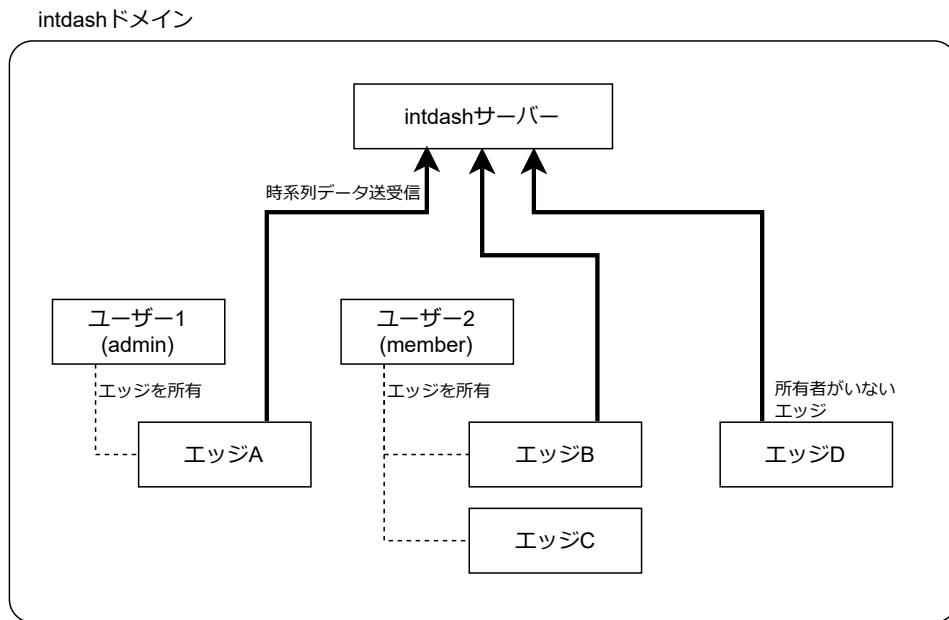


図 1 ドメイン、ユーザー、エッジ

### 2.1 ドメイン (intdash ドメイン)

intdash サーバーを中心とする、1 つの intdash 使用環境をドメイン（または intdash ドメイン）と呼びます。intdash サーバーに接続できるのは、そのドメインで発行されたアカウントを持つユーザーとエッジ（データを送受信するデバイス）のみです。

ドメインには、管理者 (admin) ロールを持つ管理者ユーザーが 1 名以上存在します。

### 2.2 ユーザーとエッジ

intdash に接続する存在として、「ユーザー」と「エッジ」があります。

#### ユーザー

intdash を使用する人を「ユーザー」と呼びます。ユーザーは、主にウェブアプリケーションやモバイルアプリケーションを使って時系列データの閲覧を行います。

#### エッジ

センサーを使ってデータを取得するデバイスや、遠隔操作されるデバイスを「エッジ」と呼びます。エッジは、時系列データを intdash サーバーに送信したりサーバーから受信したりします。

intdash を使用するユーザーには「ユーザー アカウント」が必要です。また、エッジには「エッジ アカウント」が必要です。

### 2.2.1 ユーザーアカウント

- ・ ユーザーアカウントは、intdash ドメインの管理者が作成します。
- ・ ユーザーアカウントには admin (管理者)、member (一般ユーザー) などのロールが割り当てられます。
- ・ admin ロールを持つユーザーは、ユーザー アカウントの作成や削除など、他のユーザーを管理する権限を持ちます。通常は、admin と member ロールが存在しますが、使用可能なロールは intdash ドメインによって異なります。
- ・ ユーザーは、エッジアカウントを作成し、所有することができます。

### 2.2.2 エッジアカウント

- ・ エッジアカウントは、エッジを作成する権限を持つユーザーが作成します。通常は、member ロールのユーザーもエッジアカウントを作成できます。
- ・ ユーザーがエッジアカウントを作成すると、ユーザーはそのエッジの所有者となります。
- ・ エッジアカウントの所有者と intdash ドメインの管理者は、エッジアカウントを編集したり削除したりできます。
- ・ 管理者ユーザーは、エッジアカウントの所有者を変更することができます。また、エッジアカウントに所有者がいる状態にすることもできます。

### 2.2.3 用途によるユーザーとエッジの使い分け

基本的に、時系列データを発生させて intdash サーバーに送信するのは「エッジ」です。また、intdash サーバーから時系列データを受信して動作する物（遠隔操作されるロボットなど）も「エッジ」です。

「ユーザー」は、時系列データの閲覧やダウンロード、エッジの管理を行います。同じドメイン内であれば、自分の所有でないエッジのデータも閲覧することができます。

使用するアプリケーション、SDK	認証（ログイン）に使用するアカウント	使用する認証情報
ウェブアプリケーション Data Visualizer、Meas Hub、Edge Finder など	ユーザー	ユーザー名とパスワード
閲覧用モバイルアプリケーション Stream Video、Stream Monitor、VM2M Viewer	ユーザー	ユーザー名とパスワード
計測用モバイルアプリケーション intdash Motion	ユーザー	ユーザー名とパスワード
intdash SDK for Python	ユーザー	API トークン、またはユーザー名とパスワード（ユーザー名とパスワードは非推奨になる予定です）
intdash Edge Agent、Terminal System	エッジ	クライアントシークレット

**重要:**

- intdash Motion を使用する際はユーザー アカウントでログインします。ただし、リアルタイムデータの送信はエッジとして行う必要があるため、intdash Motion は特別に「ログインしたユーザーの UUID と同じ UUID を持つエッジ」としてデータを送信します。ユーザーと同じ UUID を持つエッジアカウントが存在しない場合、そのようなエッジアカウントが自動的に作成されます。  
(UUID とは、アカウントを区別する識別子です。UUID は My Page や Edge Finder で確認することができます。)
- intdash SDK for Python を使用する際はユーザー アカウントで認証します。リアルタイムデータの送受信はエッジとして行う必要があるため、Python コード内でアップストリームまたはダウンストリームを作成する際は、どのエッジとして送受信を行うかを指定してください。詳細については、intdash SDK for Python のドキュメントを参照してください。

**注意: 以前の intdash を使用されていた方への補足**

以前の intdash (My Page アプリケーションのバージョン 2.4 まで) と新しい intdash では、「エッジ」の意味が若干異なります。以下の点についてご注意ください。

**新しい intdash では、ユーザー（人）とエッジ（デバイス）が区別されます**

- 以前の intdash では、intdash に接続する人とデバイスを区別なく「エッジ」と呼んでいました。
- 新しい intdash では、intdash に接続する人は「ユーザー」と呼び、intdash に接続するデバイスは「エッジ」と呼んで、人とデバイスを区別しています。

**新しい intdash では、エッジアカウントでウェブアプリケーションにログインすることはできません**

- 以前の intdash では、エッジアカウントにパスワードが発行され、エッジ名とパスワードを使ってウェブアプリケーションにログインすることができました。
- 新しい intdash では、エッジアカウントはデバイス専用であるため、エッジアカウントによるウェブアプリケーションの利用は想定されていません。そのため、エッジアカウントにはパスワードは発行されず、エッジ名とパスワードを使ってウェブアプリケーションにログインすることはできません。

**新しい intdash では、エッジアカウントの設定は所有者のユーザーが行います**

- 以前の intdash では、エッジアカウントを使って My Page にログインすることにより、エッジアカウント自身の設定を変更することができました。
- 新しい intdash では、エッジアカウントの設定は所有者であるユーザーの My Page で変更してください。  
また、admin ロールを持つユーザーは、ドメイン内のすべてのエッジアカウントの設定を変更することができます。

## 2.3 計測

intdash では、ある基準時刻を共有した時系列データポイントの集まりを「計測 (Measurement)」と呼びます。

例えば、以下の図の例は、2020 年 9 月 1 日 9 時 00 分 00 秒に開始された計測を表します。



図 2 計測の概念

計測開始を基準時刻として、その基準時刻からの経過時間 0.10 秒では速度 15.0km/h、経過時間 0.15 秒では 17.5km/h、経過時間 0.30 秒では 19.5km/h…といったデータポイントが存在しています。これら、1 つの基準時刻を持つ一連のデータポイントの集まりが、計測です。

計測には、そのデータを送信したエッジ（計測を行ったエッジ）の情報が必ず記録されます。そのため、Meas Hub 等のアプリケーションで、「特定のエッジから送信された計測だけを一覧する」といったことが可能です。

**注釈:** intdash は、時系列データポイントの時刻を、基準となる時刻（基準時刻）とその基準時刻からの経過時間に分解して管理します。詳細については、[詳説 iSCP 1.0](#) を参照してください。

## 03 intdash にログインする

ウェブブラウザーで intdash アプリケーションを使用するには、ユーザーアカウントを使ってログインする必要があります。

1. ウェブブラウザーで、お客様用の URL を開きます。

URL は intdash ドメインごとに異なります。URL、ユーザー名、パスワードを受け取っていない場合は、管理者にお問い合わせください。

2. ログイン画面が表示されたら、ユーザー名または登録されたメールアドレスと、パスワードを入力します。

ご使用の環境によっては、ログイン画面に [テナント ID] ボックスも表示されます。その場合、管理者から指示されたテナント ID を入力してください。テナント ID を空欄にすると、デフォルトのテナントにログインします。



図 3 intdash へのログイン

3. 利用者ガイドラインを確認し、[利用者ガイドラインに同意する] を選択してから、[ログイン] をクリックします。
4. アプリケーションの一覧から、使用するアプリケーションをクリックします。

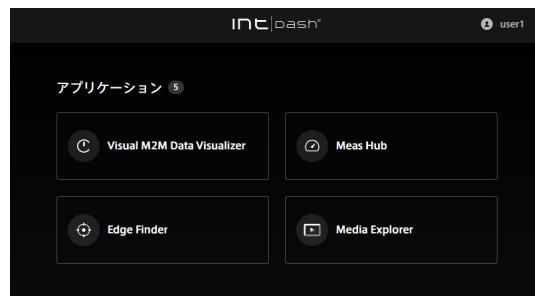


図 4 アプリケーション一覧

管理者用の Admin Console は、アプリケーションの一覧に表示されません。Admin Console を開くには、<ベース URL>/admin/ にアクセスしてください。

**注釈:** 管理者から連絡された仮パスワードを使ってログインした場合には、新しいパスワードを設定する画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

各アプリケーションの URL は以下のとおりです。ベース URL は intdash ドメインごとに異なります。管理者から通知された情報を参照してください。

- My Page: <ベース URL>/users/me/
- Edge Finder: <ベース URL>/edges/
- Meas Hub: <ベース URL>/measurements/
- Media Explorer: <ベース URL>/media/
- Admin Console <ベース URL>/admin/

例えば、お客様の intdash ドメインのベース URL が <https://example.vm2m.jp> の場合、各アプリケーションの URL は以下のようになります。

- My Page: <https://example.vm2m.jp/users/me/>
- Edge Finder: <https://example.vm2m.jp/edges/>
- Meas Hub: <https://example.vm2m.jp/measurements/>
- Media Explorer: <https://example.vm2m.jp/media/>
- Admin Console <https://example.vm2m.jp/admin/>

intdash アプリケーションをすでに開いている場合は、画面右上の  ボタンで他のアプリケーションに移動することもできます。

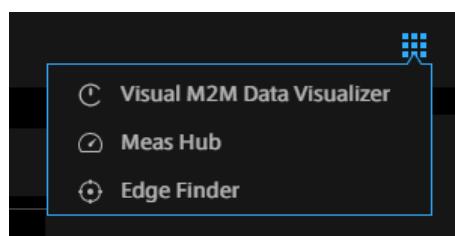


図 5 他のアプリケーションに移動

## 04 自分のユーザーアカウントについて設定する - My Page

### 4.1 ユーザー情報（名前、メールアドレスなど）を確認／設定する

名前やメールアドレスなど、自分のユーザー情報の確認または設定は、My Page のユーザー情報画面で行います。

1. My Page（<ベース URL>/users/me/）を開きます。

intdash アプリケーションをすでに開いている場合は、画面右上の  ボタンから My Page に移動することができます。

2. [ユーザー情報] を開きます。

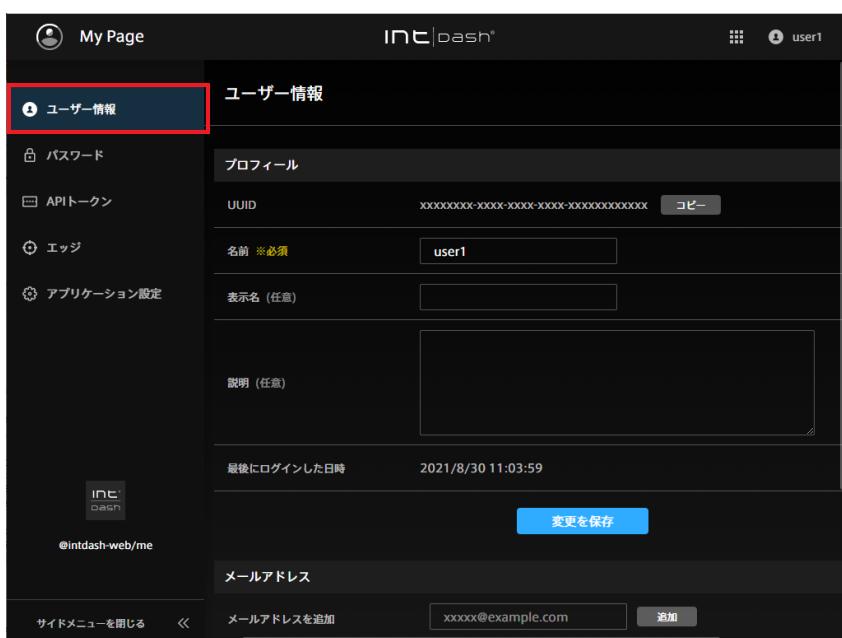


図 6 ユーザー情報

3. (名前、表示名、説明を設定する場合) ユーザー情報を編集し、[変更を保存] をクリックします。

#### 名前

ユーザーの名前です。変更することができますが、同一の intdash ドメイン内で他のユーザーと同じ名前を付けることはできません。

名前には、英数字 (0-9, A-Z, a-z)、ハイフン (-)、アンダースコア (\_) を使用できます。

#### 表示名（任意）

ユーザーに、分かりやすい表示名を付けることができます。

#### 説明（任意）

ユーザーに関する説明を入力することができます。

4. (メールアドレスを設定する場合) 新たにメールアドレスを設定するには、メールアドレスを入力し [追加] をクリックします。

メールアドレス宛に確認メールが送信されます。確認メールを開き、メール内の URL をクリックしてください。

ご使用の intdash ドメインによっては、1つのユーザーアカウントに複数のメールアドレスを登録できます。

メールアドレスの登録を解除する場合は、[登録を解除] をクリックします。

**注釈:** 確認メールによるメールアドレスの確認を行っていない場合、パスワードを忘れたときに自分でパスワードのリセットをすることができません。

[確認メールを再送信] をクリックすると、登録されたメールアドレス宛てに確認メールをもう一度送信することができます。

## 4.2 パスワードを変更する

ユーザーアカウントのパスワードの変更は、My Page で行います。

1. My Page (<ベース URL>/users/me/) を開きます。
2. [パスワード] を開きます。

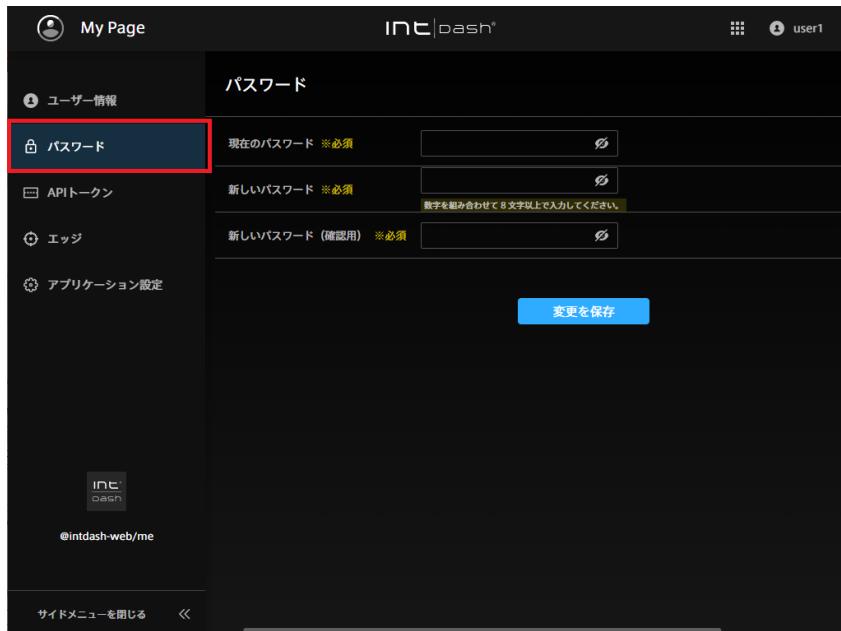


図 7 パスワード

3. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、[変更を保存] をクリックします。

**ヒント:**  をクリックすることにより、パスワードの表示／非表示を切り替えることができます。

## 4.3 API トークンを作成する

各種SDKを使用するプログラムを使って、ユーザーとしてintdash APIにアクセスする場合には、API トークンで認証を行います。API トークンは、ユーザーアカウントのMy Pageで作成します。

**注釈:** ユーザーではなくエッジとしてintdash APIを使用する場合は、エッジアカウントを作成し、クラウドアントシーカレットを使用して認証を行ってください。詳細については、[エッジアカウントを作成する](#)(p. 15)を参照してください。

1. My Page (<ベース URL>/users/me/)を開きます。
2. [API トークン]を開きます。



図 8 API トークン

3. [API トークンを作成]をクリックします。
4. トークンを区別するために名前を付けます。
5. API トークンの有効期限を入力します(任意)。
6. [作成]をクリックします。
7. API トークンが表示されたら、[コピー]をクリックしてクリップボードにコピーします。

**注意:**

- API トークンは、作成時に一度しか表示されません。
- API トークンは、他の人に知られないようにしてください。

**注釈:** API トークンの有効期限は、API トークン画面に表示されます。API トークン画面では、トークンの名前の変更や削除ができます。

## 4.4 エッジアカウントを作成する

デバイスを intdash に接続するにはデバイスごとにエッジアカウントが必要です。エッジアカウントは、各ユーザーが My Page で作成することができます。

エッジアカウントを作成すると、エッジの UUID とクライアントシークレットが発行されますので、これをデバイスに設定してください。

My Page でエッジアカウントを作成すると、作成したユーザー自身がそのエッジアカウントの所有者になります。

1. My Page (<ベース URL>/users/me/) を開きます。
2. [エッジ] を開きます。

名前	作成日時	更新日時
edge1 表示名:	2021/8/18 15:07:44	2021/8/18 15:07:44
edge2 表示名:	2021/8/17 16:39:15	2021/8/17 16:39:15

図 9 エッジ

3. [エッジを作成] をクリックします。
4. エッジを区別するために名前を付けます。(表示名と説明の入力は任意です。)  
名前には、英数字 (0-9, A-Z, a-z)、ハイフン (-)、アンダースコア (\_) を使用できます。同一 intdash ドメイン内で他のエッジと同じ名前を付けることはできません。
5. [作成] をクリックします。
6. エッジの UUID とクライアントシークレットが表示されたら、コピーして、intdash に接続しようとするデバイスに設定してください。

**注意:**

- クライアントシークレットは、作成時に一度しか表示されません。
- クライアントシークレットは、他の人に知られないようにしてください。

**注釈:** iOS アプリケーション intdash Motion を使ってデータを送信すると、ユーザー名と同じ名前（または「ユーザー名\_edge」）のエッジアカウントが自動的に作成され、そのエッジアカウントを使ってデータが送信されます。

## 4.5 エッジアカウントの設定を変更する／エッジアカウントを削除する

エッジアカウントの所有者は、My Page でエッジの設定を変更したり、そのエッジアカウントを削除したりできます。

1. My Page (<ベース URL>/users/me/) を開きます。

2. [エッジ] を開きます。

自分が所有者となっているエッジの一覧が表示されます。

名前	作成日時	更新日時
edge1 表示名:	2021/8/18 15:07:44	2021/8/18 15:07:44
edge2 表示名:	2021/8/17 16:39:15	2021/8/17 16:39:15

図 10 エッジ

3. [詳細] をクリックします。

- エッジの詳細が表示されます。名前や表示名を変更して [変更を保存] をクリックします。
- エッジアカウントを削除する場合は、[削除] をクリックします。

**注釈:** エッジの一覧画面でエッジアカウントを選択して [選択項目を削除] をクリックすると、一括削除ができます。

## 4.6 ウェブアプリケーションの表示言語とタイムゾーンを変更する

intdash 用ウェブアプリケーションで表示される言語や、表示される時刻のタイムゾーンを変更することができます。

**注釈:** この設定により表示言語が変更されるのは、多言語表示に対応しているアプリケーションのみです。また、この設定は、ローカル PC のウェブブラウザー内に保存されますので、他のウェブブラウザーを使用する場合には再度設定する必要があります。

1. My Page (<ベース URL>/users/me/) を開きます。

2. [アプリケーション設定] を開きます。



図 11 アプリケーション設定

3. [言語] と [タイムゾーン] を選択します。

## 05 エッジの現在の状態を確認する - Edge Finder

### 5.1 エッジの一覧を表示する

エッジがオンラインであるかを確認したり、エッジから intdash サーバーに伝送されているリアルタイムデータを簡易的に確認したりするには、Edge Finder を使用します。

Edge Finder (<ベース URL>/edges/) を開きます。intdash アプリケーションをすでに開いている場合は、画面右上の ボタンで Edge Finder に移動することもできます。

エッジ一覧では並び順の変更やフィルタリングが可能です。[エッジの一覧を表示する \(p. 18\)](#) を参照してください。

**注釈:** iOS アプリケーション intdash Motion を使ってデータを送信すると、ユーザー名と同じ名前（または「ユーザー名\_edge」）のエッジアカウントが自動的に作成され、そのエッジアカウントを使ってデータが送信されます。

エッジ一覧画面の表示は以下の通りです。

The screenshot shows the Edge Finder interface with the following elements:

- Header:** Edge Finder, intdash logo, user icon, and a test button.
- Sidebar:** Edge Finder menu.
- Toolbar:** Includes a search bar with placeholder "manual", a filter icon, and a count "49/49".
- Table Headers:** 列名 (Column Name) and 並び順 (Sort Order).
- Data Rows:** Each row represents an edge, with columns for Name, Status (blue dot for online, grey dot for offline), Description, Last Connection Time, and Last Login Time.
- Device Details:** Below the main table, there are sections for Device-A and Device-B, each showing their connection status and last activity times.
- Footer:** Includes a sidebar menu, a back arrow, and footer text "@intdash-web.edges".

図 12 エッジ一覧画面

- ① エッジの名前（エッジに表示名が設定されている場合は表示名）
- ② 接続ステータス（ 青：オンライン、 グレー：オフライン）
- ③ エッジの名前
- ④ 説明
- ⑤ このエッジが最後に intdash サーバーと通信した日時
- ⑥ このエッジが最後に intdash にログインした日時
- ⑦ 並び順の変更

⑧ 文字列による検索 (UUID、名前、表示名、説明による検索ができます。スペース区切りで複数の文字列を入力すると AND 条件になります。)

⑨ タイプまたは接続ステータスによるフィルター (  )

**ヒント:** 接続ステータスは intdash との通信の有無により判断しています。最新の接続ステータスが画面に反映されるまでに 15 秒程度の時間がかかることがあります。

**ヒント:** 並び順の変更、文字列検索、フィルター指定を行うと、ウェブブラウザーのアドレスバーに現在の一覧の URL が表示されます。この URL をブックマークしておくことにより、次回も同じ指定で一覧を表示することができます。

## 5.2 トラフィックを確認する

Edge Finder で [トラフィック] をクリックすると、エッジから intdash サーバーに伝送されているデータをリアルタイムに表示することができます。

**注釈:**

- ここで確認できるのは、データのタイムスタンプ、ID、タイプ、チャンネル、カウント、一部のペイロードのみです。
- エッジと intdash サーバー間の疎通を簡単に確認したいときに本機能を使用してください。実用的なデータの可視化には、Visual M2M Data Visualizer を使用してください。

### 5.2.1 エッジトラフィック画面

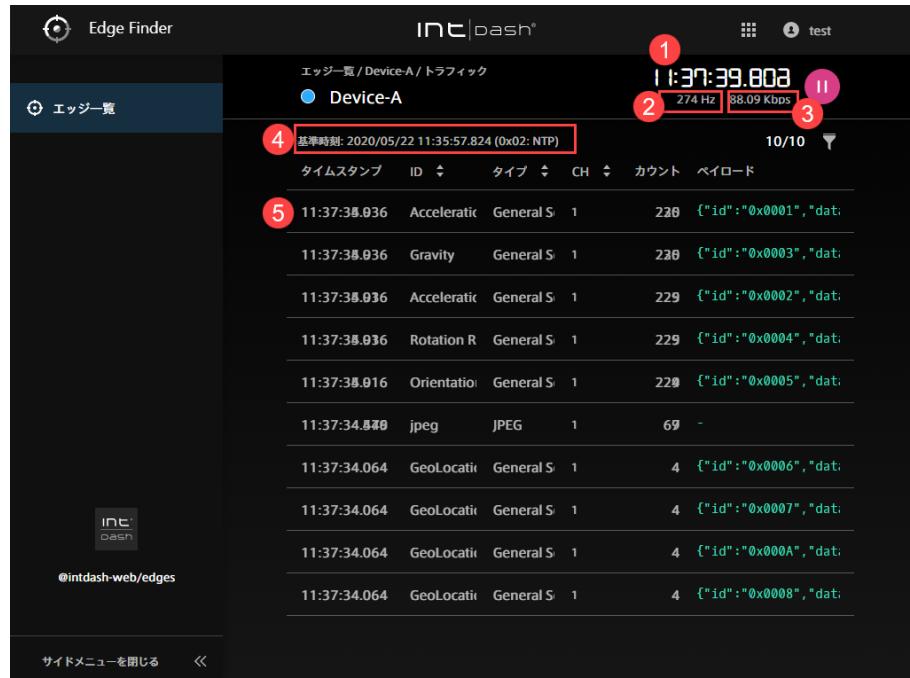


図 13 トラフィック画面

- ① 時刻（ブラウザーを使用しているローカル PC の時刻）
- ② intdash サーバーがこのエッジから 1 秒間に受信しているデータの個数（1 秒あたりの「カウント」の増分）
- ③ intdash サーバーがこのエッジから 1 秒間に受信しているペイロードの量
- ④ 計測の開始時刻
- ⑤ データの内容

**ヒント:**

- ・ トラフィック表示画面の「カウント」とは、表示開始後に受信したデータの個数です。
- ・ ID、タイプ、チャンネルで並べ替えることができます。
- ・ をクリックすることにより、データの ID、タイプまたはチャンネルでのフィルタリングが可能です。スペース区切りによる AND 条件検索が可能です。
- ・ / をクリックすることにより、一時停止と再生が可能です。

トラフィック表示画面で確認したい行をクリックすると、データ ID 別トラフィック画面が表示されます。

## 5.2.2 データ ID 別トラフィック画面

データ ID 別トラフィック画面では、その ID の直近の時系列データが 50 個まで表示されます。

詳細画面を開くことで、ペイロードの詳細を表示することができます。

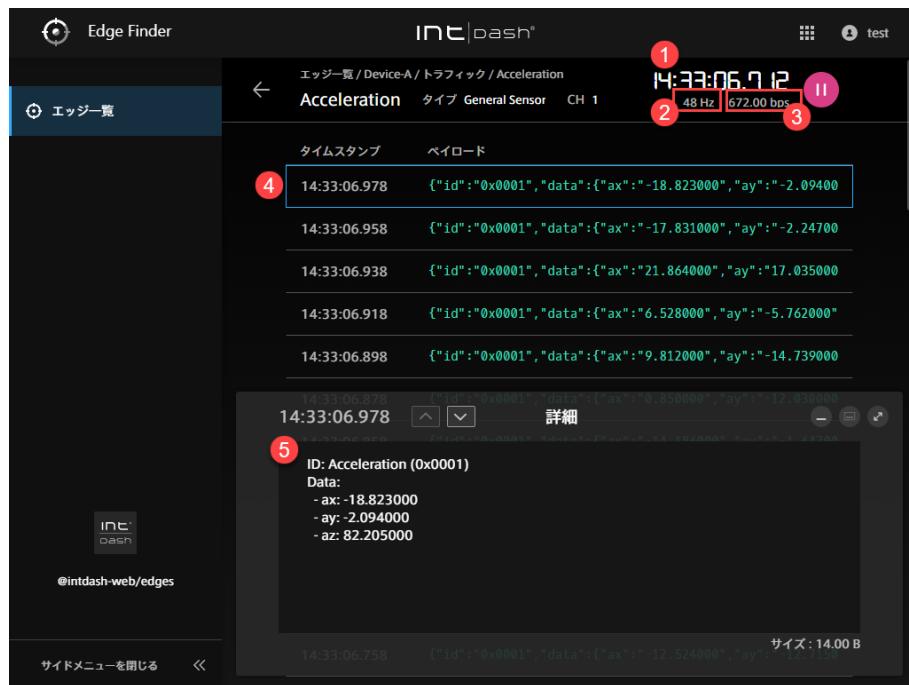


図 14 ペイロードの詳細

- 1** 時刻（ブラウザーを使用しているローカル PC の時刻）
- 2** intdash サーバーがこのエッジから 1 秒間に受信しているデータの個数（1 秒あたりの「カウント」の増分）
- 3** intdash サーバーがこのエッジから 1 秒間に受信しているペイロードの量
- 4** データの内容
- 5** 詳細

ヒント: 詳細画面の表示は、データタイプによって異なります。

- 緯度と経度を含むデータの場合は地図が表示されます。

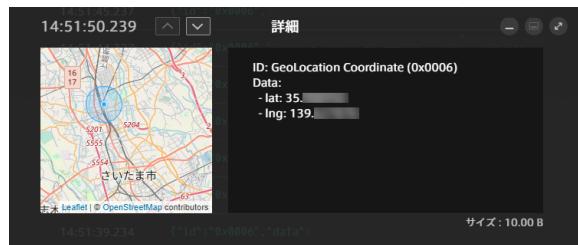


図 15 緯度と経度

- データタイプが JPEG の場合は画像が表示されます。



図 16 JPEG

- データタイプが General Sensor の場合は数値が表示されます。



図 17 General Sensor

- それ以外のデータタイプの場合は、バイナリーデータが 0 と 1 で表示されます。



図 18 バイナリ表示

# 06 計測データを管理する - Meas Hub

## 6.1 計測の一覧を表示する

ウェブブラウザーで、Meas Hub アプリケーション（<ベース URL>/measurements/）を開きます。intdash アプリケーションをすでに開いている場合は、画面右上の  ボタンで Meas Hub に移動することもできます。intdash に保存されている計測の一覧が表示されます。計測とは、あるエッジで取得した一続きの時系列データポイントの集まりのことです。

図 19 計測一覧（カード型の表示）

- ① 表示形式の切替え
- ② 検索ボックス（計測の名前や説明の文字列を使って検索します。[計測を探す](#) (p. 24) を参照してください。）
- ③ フィルター（条件を設定して検索を絞り込みます。[計測を探す](#) (p. 24) を参照してください。）
- ④ 削除（選択されている計測をゴミ箱に移動します。[計測を削除する](#) (p. 33) を参照してください。）
- ⑤ ステータス変更（選択されている計測のステータスを変更します。）
- ⑥ 基準時刻による昇順と降順の切り替え
- ⑦ 計測の詳細（各項目については、[計測の詳細を確認する](#) (p. 25) を参照してください。マーカーについては、[計測に含まれるマーカーの一覧を表示する](#) (p. 27) を参照してください。）
- ⑧ 他のアプリケーションへのリンク（一部の環境でのみ表示されます。）

**ヒント:** 一覧画面や詳細画面の URL をウェブブラウザーでブックマークすると、次回以降すばやく同じ情報にアクセスすることができます。

- 一覧画面で並び順の変更、検索、フィルター指定を行った場合も、ウェブブラウザーのアドレスバーに現在の一覧の URL が表示されます。この URL をブックマークしておくことにより、次回も同じ条件で一覧を表示することができます。
- 個別の計測やマーカーのページの URL には計測やマーカーの UUID が使用されます。例えば、計測 UUID 「ca3a...7964」 の詳細画面は <ベース URL>/measurements/ca3a...7964 のようになります。

## 6.2 計測を探す

検索一覧画面では、検索ボックスとフィルターにより計測を絞り込むことができます。

### 検索ボックス ( )

以下を対象にして検索することができます。

- 計測の UUID、名前、説明
- 計測マーカーの UUID、名前、説明、タグのキー、タグの値
- エッジの UUID、名前、表示名、説明

スペース区切りで複数の文字列を入力することで、AND 条件で検索できます。大文字／小文字の区別はありません。

### フィルター ( )

計測開始日時、計測の長さ、選択されている基準時刻のタイプなどの条件で計測を絞り込むことができます。複数の条件を設定すると AND 条件になります。ステータス、保護等の意味については、[計測の詳細を確認する](#) (p. 25) を参照してください。基準時刻については [計測の基準時刻を確認する／変更する](#) (p. 27)、マーカーについては、[計測に含まれるマーカーの一覧を表示する](#) (p. 27) を参照してください。



① フィルター条件

② 現在のフィルター条件に合致する計測の個数

- ③ フィルターを解除する
- ④ フィルター設定画面を閉じる

**注釈:**

- ・検索やフィルタリングは、ブラウザに読み込み済みの情報だけを対象にして行われます。すべての計測を対象にして表示や検索を行いたい場合は、Meas Hub の [アプリケーション設定] で、[ブラウザに読み込む計測の数] を [無制限] にしてください。
- ・ゴミ箱に入っている計測は検索やフィルタリングの対象にはなりません。

### 6.3 計測の詳細を確認する

計測一覧で各計測の [詳細] をクリックすると、計測の詳細が表示されます。

The screenshot shows the detailed view of a measurement in Meas Hub. At the top, the measurement ID is fc76d931-5177-4503-a89a-3aa8ae04bc26. Below it, the measurement period is listed as 2020/11/27 22:14:33.632 - 22:14:43.686. The status is '終了' (Completed). The processing rate is 100.0000%. The duration is 00:00:10 (10,054,541 マイクロ秒). The edge device is listed as 'edge06'. There are fields for '名前' (Name) and '説明' (Description), both of which are currently empty. Under '基準時刻' (Reference Time), there is a list of markers: '2020-11-27T13:14:33.632364Z Edge RTC' (selected) and '2020-11-27T13:14:34.120086Z API First Received'. A button '+ 追加する' (Add) is available for adding more markers. The '保護' (Protect) switch is turned on. At the bottom, the creation and update times are listed as 2020/11/27 22:14:33 and 2020/11/27 22:17:15 respectively. A table titled 'データ ID' shows five data points, all of type 'General Sensor' with channel 1. The total count is 5. At the bottom right, there are buttons for 'マーカー 3件' (3 markers), 'ポイント 1件' (1 point), '範囲 2件' (2 ranges), and '一覧' (List).

図 20 計測の詳細

#### 動画を含む計測 ( )

h.264 動画を含む計測であることを示します。

#### 保護された計測 ( )

この計測が保護されていることを示します。保護された計測はゴミ箱に移動できません。保護のオン／オフ

フはこの画面の [保護] スイッチで行います。

#### 削除 ( )

この計測をゴミ箱に移動します。 [計測を削除する \(p. 33\)](#) を参照してください。

#### 他のアプリケーションへのリンク ( ) (一部の環境でのみ表示されます。)

他のアプリケーションでこの計測を表示します。

#### UUID

この計測に与えられた固有の ID です。

#### ステータス

以下の 3 つのステータスがあります。

- 計測中 (リアルタイムにデータをサーバーに送信している)
- 再送中 (リアルタイムに送信されなかったデータをサーバーに送信している)
- 終了 (上記以外)

計測中や再送中の計測については、Meas Hub 上でステータス表示をクリックして終了させることができます。

#### 処理済み率

計測は、「セクション」と呼ばれる単位に分割されてサーバーに送信されます。処理済み率とは、intdash サーバーが認識しているセクションのうち、サーバー側での処理（永続化など）が完了したセクションの割合を表します。

#### セクションを表示

セクションの詳細が表示されます。どのセクションが未処理なのかを確認することができます。

#### 計測時間

計測の長さです。

#### エッジ

計測を行ったエッジの名前です。クリックすると、Edge Finder でエッジの情報を確認することができます。エッジの名前として「GHOST EDGE」と表示される場合は、そのエッジの情報が存在しないことを示します（エッジが削除された場合など）。

名前 計測に分かりやすい名前を付けることができます。

説明 計測に説明を付けることができます。

#### 基準時刻

基準時刻（計測の開始時刻）として、どの時刻を使用するかを選択することができます。基準時刻の詳細については、[計測の基準時刻を確認する／変更する \(p. 27\)](#) を参照してください。

保護 計測を保護することができます。保護された計測はゴミ箱に移動することができません。

#### 作成日時

計測がサーバーに作成された日時です。

#### 更新日時

計測の情報が最後に更新された日時です。

#### データ ID

この計測に含まれる時系列データポイントのデータ ID の一覧を表示します。計測にどのような種類のデータが含まれているかが分かります。ID、タイプ、チャンネルの詳細については、[詳説 iSCP 1.0](#) を参照してください。

**動画** この計測が H.264 形式の動画を含む場合は、動画を再生したりダウンロードしたりできます。詳細については [H.264 動画を再生する／ダウンロードする](#) (p. 33) を参照してください。

## 6.4 計測の基準時刻を確認する／変更する

intdash における計測の「基準時刻」とは、計測の開始時刻のことです。intdash では、1 つの計測が複数の基準時刻を持つことができ、どれを使用するかをいつでも変更することができます。

計測の詳細画面には、現在使用している基準時刻が表示されます。また、基準時刻の選択、追加、編集、削除ができます。使用する基準時刻を変更すると、その計測の開始、終了、マーカーはすべて新しい基準時刻で表示されます。

基準時刻の種類には、以下があります。

#### Edge RTC

エッジのリアルタイムクロック (RTC) による時刻です。

**NTP** NTP サーバーと同期したエッジ側の時計による時刻です。

**GPS** GPS と同期したエッジ側の時計による時刻です。

#### API First Received

サーバー側でこの計測を初めて受信した時刻です。

#### Manual

手動で設定した時刻です。[追加する] をクリックして手動で新しい基準時刻を設定すると、種類は Manual となります。Manual の基準時刻のみ編集が可能です。

計測と基準時刻の詳細については、[詳説 iSCP 1.0](#) も参照してください。

## 6.5 計測に含まれるマーカーの一覧を表示する

計測の詳細画面で [マーカー] > [一覧] をクリックすると、その計測に設定されたマーカーの一覧が表示されます。

計測の中の特定の時刻または特定の時間範囲に、マーカーを付けることができます。特定の時刻に付けたマーカーは「ポイントマーカー」、特定の時間範囲に付けたマーカーは、「範囲マーカー」と呼びます。計測にマーカーを付けることで、その部分だけを対象にした操作が可能になります。

**注釈:** Meas Hub でマーカーを付けることはできません。マーカーは、エッジ側で計測時に作成するか、intdash SDK 等の他のツールを使って付与します。

マーカーには、説明や、キーと値のペアによるタグを設定することができます。

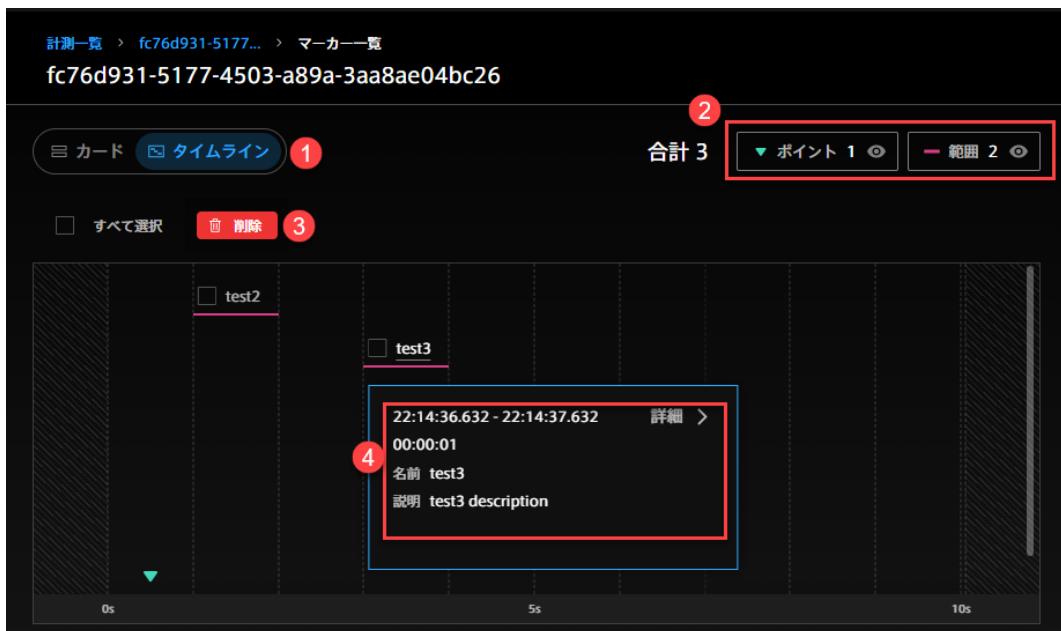


図 21 マーカー一覧（タイムライン型の表示の例）

- ① 表示形式の切替え
- ② 表示／非表示の切り替え
- ③ 選択されたマーカーの削除
- ④ マーカーの詳細（各項目については [マーカーの詳細を確認する](#) (p. 29) を参照してください。）

## 6.6 マーカーの詳細を確認する

マーカー一覧画面で各マーカーの [詳細] をクリックすると、マーカーの詳細が表示されます。

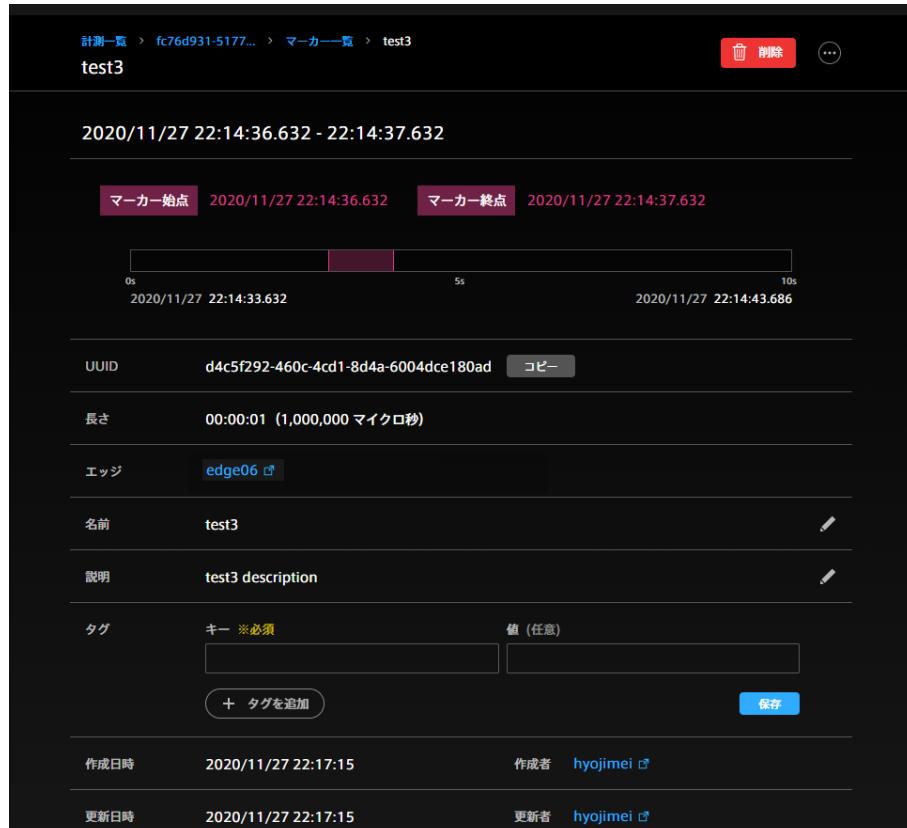


図 22 マーカーの詳細（範囲マーカーの例）

### 削除 ( )

このマーカーを削除します。

### 他のアプリケーションへのリンク ( ) (一部の環境でのみ表示されます。)

このマーカーが含まれる計測を他のアプリケーションで表示します。

### マーカー時刻 (またはマーカー始点とマーカー終点)

ポイントマーカーの場合は、マーカー時刻が表示されます。範囲マーカーの場合は、マーカー始点とマーカー終点が表示されます。

### UUID

このマーカーに与えられた固有の ID です。

### エッジ

計測を行ったエッジの名前です。クリックすると Edge Finder に移動します。

**名前** マーカーに分かりやすい名前を付けることができます。

**説明** マーカーに説明を付けることができます。

**タグ** マーカーに、キーと値によるタグをつけることができます。

### 作成日時

マーカーが作成された日時です。

### 作成者

マーカーを作成したエッジの名前です。クリックすると Edge Finder に移動します。

### 更新日時

マーカーの情報が最後に更新された日時です。

### 更新者

マーカーを更新したエッジの名前です。クリックすると Edge Finder に移動します。

**注釈:** エッジの名前として「GHOST EDGE」と表示される場合は、そのエッジの情報が存在しないことを示します（エッジが削除された場合など）。

## 6.7 CSV ファイルをアップロードして計測を作成する

CSV ファイルをアップロードして、intdash 上に計測データを作成することができます。

1 つの CSV ファイルは 1 つの計測 (measurement) に変換されます。計測とは、計測開始から計測終了までのひとまとめのデータのことです。

### 6.7.1 CSV ファイルの形式と intdash への格納のされ方

intdash にアップロードされる CSV ファイルは、以下の条件に適合する必要があります。

- UTF-8 エンコーディングであること。UTF-8 以外のエンコーディングを使用すると、日本語などのマルチバイト文字が文字化けする可能性があります。
- 第 1 行（ヘッダー行）は、各列の名称を文字列で格納していること（この名称はデータ ID として使用されます）。
- 第 1 列（タイムスタンプ列）は、タイムスタンプを格納していること。
  - ヘッダー行におけるタイムスタンプ列の名称は time であること。
  - タイムスタンプのフォーマットは RFC 3339 に従っていること。
- 第 2 行以降かつ第 2 列以降（データ領域）には、数値または文字列の形式でデータを格納していること。

Header for timestamps: "time"			
A	B	C	D
1 time	DATA_1	DATA_2	DATA_3
2 2022-03-14T00:00:00.123456789Z	1	0.1 str1	
3 2022-03-14T00:00:01.123456789Z	2	0.2 str2	
4 2022-03-14T00:00:02.123456789Z	3	0.3 str3	
5 2022-03-14T00:00:03.123456789Z	4	0.4 str4	
6 2022-03-14T00:00:04.123456789Z	5	0.5 str5	
7			

↑  
Timestamps (RFC 3339)

Headers  
(Data ID)

Data  
(Data points)

図 23 CSV ファイルの中身（例）

データ領域にある各セルのデータは、それぞれが 1 つのデータポイントとして intdash に格納されます。上の例のような CSV ファイルの場合は、3 列のデータが 5 つのタイムスタンプにおいて存在するため、合計で 15

個のデータポイントとして intdash に格納されます。

各データポイントは、CSV ファイル内での表記に応じて型情報が付与されます。

- ・整数で表記されたデータは Int (整数型)
- ・小数値で表記されたデータは Float (浮動小数点数型)
- ・文字列で表記されたデータは String (文字列型)

上の例では、データ ID 「DATA\_1」 は Int、データ ID 「DATA\_2」 は Float、データ ID 「DATA\_3」 は String として扱われます。

また、チャンネルは自動的に 1 になります。

### 6.7.2 CSV ファイルをアップロードする

1. Meas Hub サイドメニューの [計測アップロード一覧] をクリックします。
2. [CSV ファイルから計測を作成] をクリックし、どのエッジのデータとしてアップロードするかを選択します。



図 24 エッジを選択

3. [ファイルの選択に進む] をクリックし、CSV ファイルを選択してアップロードします。  
CSV ファイルの送信が正常に完了すると、ファイル一覧に新しいファイルが表示されます。  
アップロードしたファイルのステータスが「計測作成完了」になるまでしばらく待ってください。

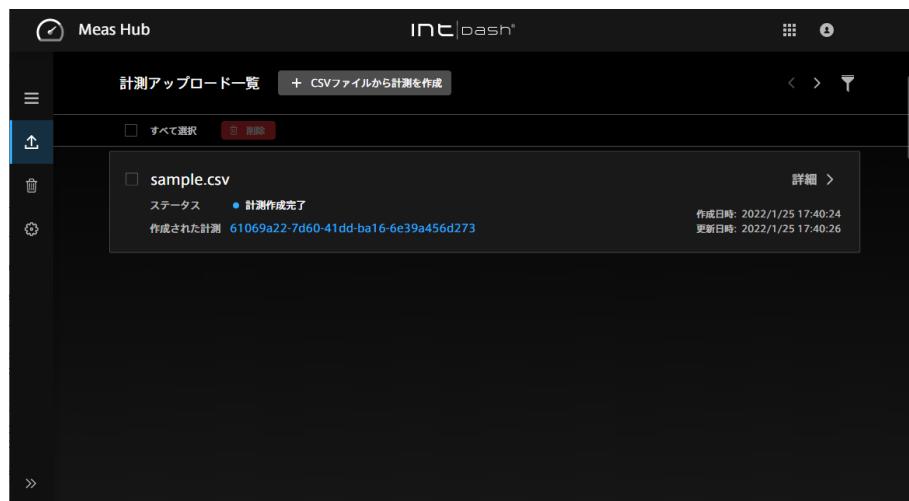


図 25 アップロード済みファイルの一覧

計測の作成に失敗した場合は、[詳細] をクリックし、「変換結果」を確認してください。

**注釈:** 同じ日に同じ名前のファイルを複数回アップロードすると、2回目以降のファイル名の先頭にはランダムな文字列が追加されます（例: WXeiMUYkBU\_sample.csv）

4. アップロードにより作成された計測の UUID が、「作成された計測」に表示されます。クリックすると、その計測の詳細画面に移動することができます。

**注意:** 「サーバーへのアップロードに失敗しました。もう一度試してください。」というメッセージが表示された場合、再度アップロードしてください。それでも同じメッセージが表示される場合、サーバー上で CSV ファイルを保存する領域に空きがない可能性があります（通常、CSV ファイルの保存領域は 10GB です）。

アットポッドが運用している intdash サーバーをご使用の場合、アットポッド側でストレージを拡大しますのでお問い合わせください。お客様ご自身でサーバーを運用している場合は、お客様にてストレージを拡大してください。

Meas Hub の「計測アップロード一覧」画面でアップロードを削除しても空き容量は増えません。

**注釈:** 計測アップロード一覧で計測アップロードを選択して [削除] をクリックすると、そのアップロードに関する情報が削除されます。アップロードにより作成された計測自体は削除されません。

## 6.8 H.264 動画を再生する／ダウンロードする

注釈: Media Explorer での動画の管理とダウンロードについては、[動画データを管理する - Media Explorer](#) (p. 36) を参照してください。

計測が H.264 形式の動画を含む場合は、計測の詳細画面に動画が表示されます（M-JPEG 形式の動画は表示されません）。

[オフセット] とは、計測の開始から動画の開始までの時間を表します。

H.264 形式の動画は、[MP4] をクリックすることで MP4 ファイルとしてダウンロードすることができます。ただし動画に音声は含まれません。



図 26 H.264 動画の表示

注釈: ダウンロードした MP4 ファイルを Windows Media Player で再生すると、シークバーによる再生位置の変更ができません。Chrome などのウェブブラウザーで再生すれば、シークバーを使用できます。

## 6.9 計測を削除する

計測を削除するには、計測一覧で計測を選択して [削除] をクリックするか、計測の詳細画面で [削除] をクリックして、ゴミ箱に移動します。ゴミ箱に移動された計測は、24 時間後に自動的に削除されます。

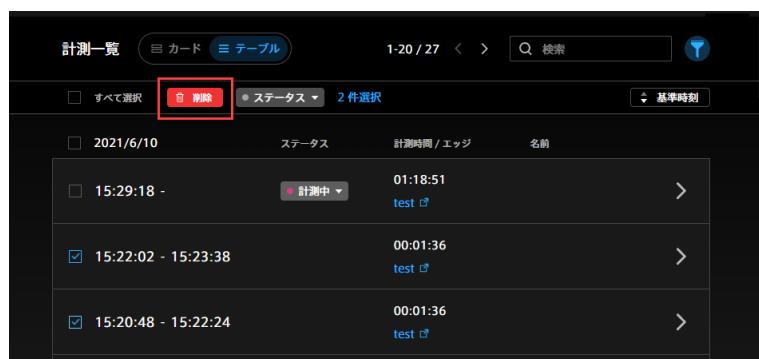


図 27 計測の削除

画面左のメニューから (ゴミ箱) をクリックすると、ゴミ箱に入っている計測の一覧が表示されます。

ゴミ箱		カード	テーブル	※ゴミ箱内の計測は、24時間後完全に削除されます。	1-20 / 977 < >
<input type="checkbox"/>	すべて選択	復元	完全に削除		
<input type="checkbox"/>	2021/6/14	ステータス	計測時間 / エッジ	ゴミ箱に移動した日時	
<input type="checkbox"/>	11:13:26 - 11:13:36		00:00:10 GHOST EDGE	2021/6/14 11:…	
<input type="checkbox"/>	11:13:15 - 11:13:25		00:00:10 GHOST EDGE	2021/6/14 11:…	
<input type="checkbox"/>	11:13:20 - 11:13:20		00:00:00 GHOST EDGE	2021/6/14 11:…	

図 28 ゴミ箱に入っている計測の一覧

計測の (復元) をクリックすると、計測をゴミ箱に入れる前の状態に戻すことができます。

計測の (完全に削除) をクリックすると、自動的に削除されるのを待たずに、その場で計測を完全に削除することができます。

複数の計測を選択してから、ウィンドウ上部の [復元] または [完全に削除] をクリックすることにより、一括で計測を復元したり、完全に削除したりできます。

## 6.10 Meas Hub アプリケーションの表示を変更する

Meas Hub アプリケーションの設定は、[アプリケーション設定] で行います。

設定可能な項目は以下の通りです。

これらの設定はウェブブラウザー内に保存されますので、設定変更後、他のウェブブラウザーで Meas Hub を開いた場合には適用されません。

### ブラウザーに読み込む計測の数

Meas Hub で計測一覧を表示すると、計測に関する情報がサーバーからウェブブラウザーに読み込まれます。その際、最新の基準時刻を持つ計測から順に、ここで指定した数まで計測が読み込まれます。

例えば、1000 件を読み込む設定とした場合、基準時刻が新しい順に 1000 件までがウェブブラウザーに読み込まれます。

表示に時間がかかる場合は、この値を小さくすることで、時間が短縮されることがあります。

#### 注釈:

- 表示の並べ替え、検索、フィルタリングは、ウェブブラウザーに読み込み済みの計測だけを対象にして行われます。
- 基準時刻のない計測は、基準時刻が古いデータ（基準時刻 1970-01-01 00:00 UTC）として扱われるため、読み込みの優先度が下がります。

### ページあたりの表示件数

計測一覧画面に一度に表示される計測の件数を設定します。表示に時間がかかる場合は、この値を小さくすることで、時間が短縮されることがあります。

### 計測一覧でのマーカーの表示

オンにすると、計測一覧画面内にマーカーのリストが展開されます。

**注釈:** 表示言語や表示される時刻のタイムゾーンは、Meas Hub ではなく、マイページの [アプリケーション設定] (<ベース URL>/edges/me/preferences) で設定してください。設定は Meas Hub にも適用されます。

## 07 動画データを管理する - Media Explorer

Media Explorer を使用すると、サーバーに保存された動画を一覧表示することができます。また、動画を再生したり、MP4 や JPEG に変換したりできます。

注釈: intdash で取得した動画を表示する方法は他にもあります。

- ・時系列データの一種としてダッシュボード上に表示する方法については、[Data Visualizer 操作マニュアル](#) を参照してください。
- ・Meas Hub で簡易的に動画を確認する方法 (H.264 のみ) については、[H.264 動画を再生する／ダウンロードする \(p. 33\)](#) を参照してください。

### 7.1 動画データを表示する

1. Media Explorer (<ベース URL>/media/) を開きます。intdash アプリケーションをすでに開いている場合は、画面右上の  ボタンで Media Explorer に移動することもできます。

intdash サーバーに保存され、自動的にストリーミング形式に変換された動画の一覧が表示されます。

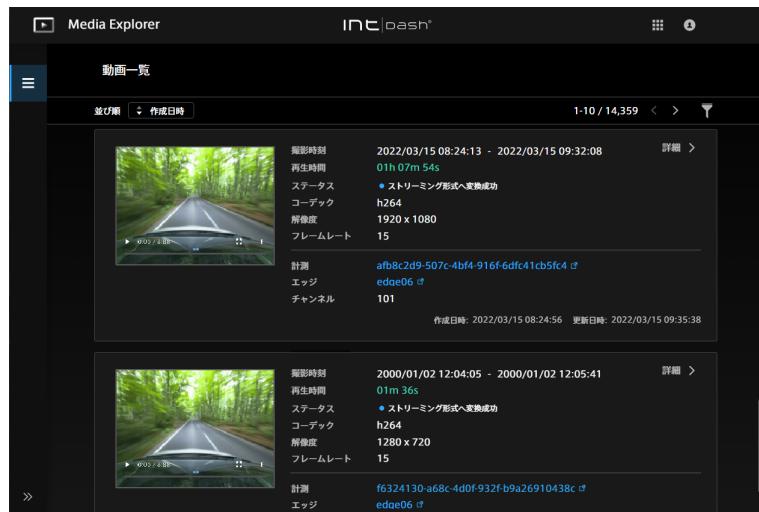


図 29 動画一覧

動画一覧では、計測の基準時刻により並べ替えることができます。また  (フィルター) をクリックして計測 UUID を入力することにより、ある計測に含まれる動画だけを表示することができます。

注釈: Meas Hub アプリケーションで、 から Media Explorer を開くと、その計測の動画の一覧を直接開くことができます。

動画を JPEG や MP4 に変換済みの場合は、「intdash.jpg」や「intdash.mp4」というリンクが表示され、クリックするとダウンロードすることができます。詳細については [MP4／JPEG 形式で動画をダウンロードする \(p. 38\)](#) を参照してください。

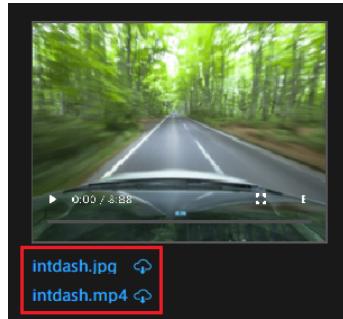


図 30 変換された JPEG、MP4 のダウンロード

2. [詳細] をクリックすると、その動画の詳細が表示されます。

① 動画

② 動画が含まれる計測の詳細

③ 動画の詳細

UUID  
93725ff7-f8af-4a13-871e-da8d22c2e47f [コピー]

撮影時刻  
2022/03/16 09:12:57.899 - 2022/03/16 09:13:57.832

再生時間  
59s (59,933,333 マイクロ秒)

ステータス  
ストリーミング形式へ変換成功

コーデック  
h264

解像度  
640 x 480

フレームレート  
15

作成日時  
2022/03/16 09:12:58

更新日時  
2022/03/16 09:13:07

MP4  
MP4データ作成

JPEG

図 31 動画の詳細

### ① 動画

### ② 動画が含まれる計測の詳細

### ③ 動画の詳細

#### UUID

動画の UUID (計測の UUID ではありません)

#### 撮影時刻

動画の開始時刻と終了時刻 (計測の中の動画の部分だけの開始と終了を示しているため、計測の開始と終了には一致しません)

#### 再生時間

動画の長さ

#### ステータス

計測内に含まれる動画は、intdash サーバーに保存されると自動的にストリーミング形式に変換されます。その変換ステータスが表示されます。

**コーデック**

動画コーデック

**解像度**

動画の解像度（幅 x 高さ）

**フレームレート**

動画のフレームレート (FPS)

**作成日時**

サーバー上に動画データが作成された時刻

**更新日時**

サーバー上の動画データが更新された時刻

**MP4／JPEG**

この動画を MP4 または JPEG に変換することができます。詳細については、[MP4／JPEG 形式で動画をダウンロードする](#) (p. 38) を参照してください。

## 7.2 MP4／JPEG 形式で動画をダウンロードする

動画を MP4 や JPEG 形式に変換してダウンロードすることができます。

MP4 や JPEG の解像度とフレームレートは、元のデータと同じです。JPEG に変換した場合は、フレームごとにファイルが作成されます。例えば 15FPS で 10 秒の動画であれば、150 個の JPEG ファイルが作成されます。

1. Media Explorer で動画の [詳細] をクリックします。
2. [MP4 データ作成] または [JPEG データ作成] をクリックします。  
しばらく待つと、動画が MP4 または JPEG に変換され、サーバー上に保存されます。
3. [MP4 をダウンロード] または [JPEG をダウンロード] をクリックします。

変換結果はサーバー上に保存されているため、何度でもダウンロードできます。JPEG に変換した場合、複数のファイルをまとめた zip ファイルとしてダウンロードされます。

JPEG の zip ファイルには、JPEG ファイル、video.json (動画についての情報)、jpeg.json (JPEG データについての情報) が含まれます。

JPEG ファイルのファイル名は、「<連番>\_<動画開始からの経過時間（マイクロ秒）>.jpeg」です。例:

```
1_0.jpg
2_66728.jpeg
3_133456.jpeg
4_200184.jpeg
5_266912.jpeg
...
```

例えば、「2\_66728.jpeg」は、2 フレーム目で、動画開始から 66728 マイクロ秒後であることを示します。

MP4／JPEG の [削除] をクリックすると、変換結果の MP4／JPEG データはサーバーから削除されます。

## 08 (管理者向け) ユーザーとエッジを管理する - Admin Console

### 8.1 ユーザーの一覧を表示する (管理者向け)

Admin Console (<ベース URL>/admin/) を開きます。

注釈: Admin Console はアプリケーション一覧には表示されませんので、URL を使ってアクセスしてください。

ユーザー一覧が表示されます。

図 32 ユーザー一覧

- ① 名前での検索 (部分一致)
- ② 有効化の状態、ロック状態、パスワードの認証状態によるフィルタリング
- ③ 並べ替え

### 8.2 ユーザーアカウントを作成する (管理者向け)

管理者は、Admin Console でユーザー アカウントを作成することができます。

1. Admin Console のユーザー一覧 (<ベース URL>/admin/users) を開きます。
2. [ユーザーを作成] をクリックします。

図 33 ユーザーの作成

3. 名前とロールを設定します。

- 名前には、英数字 (0-9、A-Z、a-z)、ハイフン (-)、アンダースコア (\_) を使用できます。
- intdash ドメイン内で他のユーザーと同じ名前を付けることはできません。
- ロールには、管理者 (admin)、一般ユーザー (member) などを設定します。設定可能なロールは intdash ドメインによって異なります。
- 1 つのユーザー アカウントに複数のロールを設定することができます。
- ユーザー アカウント作成時に設定したロールは Admin Console では変更できません。
- その他の項目の設定は任意です。

6. [作成] をクリックします。

仮パスワードが作成されます。[コピー] をクリックするとクリップボードにコピーすることができます。

7. ユーザーに、サインイン用の URL、ユーザー名、仮パスワードを安全な方法で通知してください。ユーザーは、初回ログイン時に、新しいパスワードを設定するよう要求されます。

### 8.3 ユーザーの情報を確認する／変更する (管理者向け)

注釈: 一般ユーザーが自分の情報を確認する方法については、[自分のユーザー アカウントについて設定する - My Page](#) (p. 12) を参照してください。

1. ユーザー一覧画面で、確認したいユーザーの [詳細] をクリックします。以下の情報が表示されます。

#### パスワード

このユーザー アカウントのパスワードの状態が表示されます。パスワードの状態は以下の 2 種です。

ステータス	説明
仮パスワード	仮パスワードが発行されています。ユーザーにより新しいパスワードが設定されるのを待っている状態です。
本パスワード	ユーザーによりパスワードが設定されています。

パスワードを再発行したい場合は、[パスワードを再発行する \(管理者向け\)](#) (p. 42) を参照してください。

#### UUID

intdash により自動的に割り当てられた、ユーザー固有の ID です。UUID は変更できません。

#### 名前

ユーザーの名前です。同一の intdash ドメイン内で他のユーザーと同じ名前を付けることはできません。

#### 表示名 (任意)

ユーザーに、分かりやすい表示名を付けることができます。

#### 説明 (任意)

ユーザーに関する説明を入力することができます。

#### 有効化

このユーザーの有効／無効を設定できます。無効にするとこのユーザーはログインできません。

ユーザーが無効でも、そのユーザーが所有するエッジアカウントは使用できます。エッジアカウントを無効にするには、そのエッジアカウントを削除してください。

#### 作成日時

このユーザーを作成した日時です。

#### 更新日時

このユーザーを更新した日時です。

#### メールアドレス

このユーザーに登録されたメールアドレスと登録のステータスが表示されます。ステータスは以下の3種です。

ステータス	説明
未登録	メールアドレスが登録されていません。メールアドレスが登録されていないなくても、ユーザーは名前とパスワードを使ってログインすることができます。
未認証	メールアドレスは登録されていますが認証が行われていません。ユーザーは、メールアドレスに送られた確認メール内のリンクをクリックする必要があります。
認証済み	メールアドレスが登録され、メールアドレスによる認証が完了しています。

#### ロール

管理者 (admin)、一般ユーザー (member) などのロールを設定します。設定可能なロールはドメインによって異なります。

**注意:** ユーザーアカウント作成時に設定したロールは Admin Console では変更できません。

#### API トークン

このユーザーアカウント用に作成された API トークンについての情報を表示します。API トークンの作成については、[ユーザー用の API トークンを作成する \(管理者向け\)](#) (p. 43) を参照してください。

2. 設定を変更したい場合は、編集して [変更を保存] をクリックします。

## 8.4 ユーザーアカウントを削除する (管理者向け)

1. Admin Console の「ユーザー一覧」(<ベース URL>/admin/users) を開きます。
2. ユーザーの [詳細] をクリックします。
3. [削除] をクリックします。

ユーザーアカウントを削除すると、そのユーザーが所有していたエッジアカウントは、所有者がない状態になります。管理者は、エッジアカウントの詳細画面で新たに所有者を設定することができます。[エッジの情報を確認する／変更する \(管理者向け\)](#) (p. 45) を参照してください。

**ヒント:** 複数のユーザー アカウントを一括して削除する場合は、ユーザー一覧画面で、対象となるユーザー アカウントのチェックボックスをオンにして、画面上部にある [選択項目を削除] をクリックしてください。

## 8.5 パスワードを再発行する (管理者向け)

1. Admin Console のユーザー一覧 (<ベース URL>/admin/users) を開きます。
2. パスワードを発行したいユーザー アカウントの [詳細] をクリックします。
3. パスワードの [再発行] をクリックします。
4. [再発行] をクリックしてパスワードをリセットします。  
それまでのパスワードは使用できなくなり、仮パスワードが作成されます。[コピー] をクリックするとクリップボードにコピーすることができます。
5. 仮パスワードを安全な方法でユーザーに通知してください。

ユーザーは、ログインすると、自分で新しいパスワードを設定するよう要求されます。

**注釈:** 仮パスワードには有効期限がありますので注意してください。

## 8.6 パスワードのロックを解除する (管理者向け)

intdash にログインしようとして、一定の回数以上パスワードを間違えると、パスワードはロックされます。管理者は、パスワードのロックを解除することができます。

1. Admin Console のユーザー一覧 (<ベース URL>/admin/users/) を開きます。
2. パスワードのロックを解除したいユーザー アカウントの [詳細] をクリックします。
3. [ロック解除] をクリックします。



図 34 パスワードロックを解除する

## 8.7 ユーザー用の API トークンを作成する (管理者向け)

**注釈:** 一般ユーザーが自分の API トークンを作成する方法については、[API トークンを作成する \(p. 14\)](#) を参照してください。

intdash SDK によるプログラムを使って、ユーザーとして intdash API にアクセスする場合には、API トークンが必要です。管理者は API トークンを作成することができます。

1. Admin Console のユーザー一覧 (<ベース URL>/admin/users/) を開きます。
2. API トークン作成対象のユーザー アカウントの [詳細] をクリックします。
3. [API トークンの作成] をクリックします。
4. API トークンを区別するために名前を入力します (有効期限の設定は任意です)。
5. [作成] をクリックします。
6. [コピー] をクリックして API トークンをコピーし、安全な方法でユーザーに通知してください。

**注釈:**

- API トークンは、作成時に一度しか表示されません。
- ユーザー アカウントの詳細画面には、作成済みの API トークンのステータスが表示されます。
- ユーザーごとの API トークンの数には制限があります。「残り作成可能数」が 0 の場合は、API トークンは作成できません。
- 各ユーザーは、My Page で自分用の API トークンを作成することができます。

## 8.8 エッジの一覧を表示する (管理者向け)

**注釈:** 一般ユーザーは以下を参照してください。

- [エッジアカウントの設定を変更する／エッジアカウントを削除する \(p. 16\)](#)
- [エッジの一覧を表示する \(p. 18\)](#)

Admin Console を開くと、エッジ一覧が表示されます。

削除	名前	表示名	作成日時	更新日時	詳細
<input type="checkbox"/>	test003		2021/08/30 22:50:53	2021/08/30 22:50:53	<a href="#">詳細 &gt;</a>
<input type="checkbox"/>	test002		2021/08/30 22:50:48	2021/08/30 22:50:48	<a href="#">詳細 &gt;</a>
<input type="checkbox"/>	test001		2021/08/30 22:50:41	2021/08/30 22:50:41	<a href="#">詳細 &gt;</a>

図 35 エッジ一覧

- ① 名前での検索（部分一致）
- ② フィルタリング（現在のバージョンではフィルタリングはできません。）
- ③ 項目による並べ替え

## 8.9 エッジアカウントを作成する（管理者向け）

**注釈:** 一般ユーザーが自分のエッジアカウントを作成する方法については、[エッジアカウントを作成する](#) (p. 15) を参照してください。

管理者は、Admin Console でエッジアカウントを作成することができます。エッジアカウントを作成すると、認証に必要な UUID とクライアントシークレットが発行されます。

1. Admin Console のエッジ一覧（<ベース URL>/admin/edges）を開きます。
2. [エッジを作成] をクリックします。



図 36 エッジの作成

3. 名前を設定します。
  - 名前には、英数字 (0-9, A-Z, a-z)、ハイフン (-)、アンダースコア (\_) を使用できます。
  - 同一の intdash ドメイン内で他のエッジと同じ名前を付けることはできません。
  - その他の項目の設定は任意です。
4. [作成] をクリックします。
5. エッジの UUID とクライアントシークレットが表示されたら、それぞれコピーして使用します。

**注意:** クライアントシークレットは、作成時に一度しか表示されません。

**注釈:** Admin Console でエッジアカウントを作成すると、そのエッジアカウントは所有者がない状態になります。所有者は後から設定することが可能です。また、名前や表示名も後から変更することができます。[エッジの情報を確認する／変更する（管理者向け）](#) (p. 45) を参照してください。

## 8.10 エッジの情報を確認する／変更する (管理者向け)

**注釈:** 一般ユーザーが自分のエッジを確認する方法については、[エッジアカウントの設定を変更する／エッジアカウントを削除する](#) (p. 16) を参照してください。

1. エッジ一覧画面で、確認したいエッジの [詳細] をクリックします。以下の情報が表示されます。

### UUID

intdash により自動的に割り当てられた、エッジに固有の ID です。UUID は変更できません。

### 名前

エッジの名前です。同一の intdash ドメイン内で他のエッジと同じ名前を付けることはできません。

### 表示名 (任意)

エッジに分かりやすい表示名を付けることができます。

### 説明 (任意)

エッジに関する説明を入力することができます。

### 作成日時

このエッジを作成した日時です。

### 更新日時

このエッジを更新した日時です。

### 所有するユーザー

このエッジの所有者であるユーザーです。所有者は、エッジの名前や表示名を My Page で変更することができます。

2. 設定を変更したい場合は、編集して [変更を保存] をクリックします。

**注釈:** 所有するユーザーの設定で、[x] をクリックして所有者を削除して変更を保存すると、所有者のないエッジとなります。

## 8.11 エッジアカウントを削除する (管理者向け)

**注釈:** 一般ユーザーが自分のエッジを削除する方法については、[エッジアカウントの設定を変更する／エッジアカウントを削除する](#) (p. 16) を参照してください。

1. Admin Console のエッジ一覧 (<ベース URL>/admin/edges) を開きます。
2. エッジの [詳細] をクリックします。
3. [削除] をクリックします。

**ヒント:** 複数のエッジアカウントを一括して削除する場合は、エッジ一覧画面で、対象となるエッジアカウントのチェックボックスをオンにして、画面上部にある [選択項目を削除] をクリックしてください。

## 09 トラブルシューティング／よくある質問

### ログインできません

ログインに使用しているユーザー名（または intdash に登録されたメールアドレス）が正しいことを確認してください。

パスワードが一時的に無効になっている場合があります。管理者に確認してください。

ユーザー アカウントそのものが削除されたか一時的に無効にされている可能性があります。管理者に確認してください。

パスワードを一定の回数以上間違えると、パスワードでのログインはできなくなります。この場合、正しいパスワードを入力しても、「パスワードはセキュリティロックされています」と表示され、ログインできません。管理者にパスワードのロック解除を依頼してください。

### パスワードを忘しました

メールアドレスを登録済みの場合は、ログイン画面の [パスワードを忘れた場合] をクリックして、登録済みのメールアドレスを入力してください。メールアドレス宛てに、パスワードを再設定するためのメールが送信されます。

メールアドレスを登録していない場合やメールアドレスが未確認の場合は、管理者にパスワードの再発行を依頼してください。

管理者は、Admin Console でパスワードを再発行することができます。管理者からパスワードを受け取ったら、ログインし、画面の指示に従ってパスワードを再設定してください。

### 存在するはずのユーザー やエッジが一覧に表示されません。

フィルタリングが行われていないか確認してください。詳細については [ユーザーの一覧を表示する（管理者向け）](#) (p. 39) または [エッジの一覧を表示する（管理者向け）](#) (p. 43) を参照してください。

## 10 お問い合わせ

ご不明な点、不都合などございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

株式会社アプトポッド

- ・サポート窓口メールアドレス [VM2M-support@aptpod.co.jp](mailto:VM2M-support@aptpod.co.jp)
- ・ウェブサイト <https://www.aptpod.co.jp>